

V 環境を考える

1 環境学習・環境啓発

現在の環境問題は、生産や流通などの活動が原因とされる産業型公害に加え、地球温暖化などに見られるように市民の日常生活も原因となっています。したがって、私たち一人ひとりが環境に対する理解を深め、生活の中で取り組んでいくことが重要となります。市では、環境学習講座を修了された方々と意見交換を行いながら、環境学習講座を実施しています。

(1) 環境学習

ア 府中かんきょう塾2010

平成13年にエコ・リーダー養成講座としてスタートしました。現在では府中かんきょう塾として、講座修了生による企画・運営で進められています。講座参加者数：156人

回	日 時 参加人数	テーマ (学習方法)	内 容	講 師	会場等
1	6月14日(月) 9:30~15:30 20人	ごみ処理施設バス見学会	環境月間である6月に、ごみ処理施設を見学し、環境問題について考える。	多摩川衛生組合職員	府中市リサイクルプラザ、多摩川衛生組合
2	7月31日(土) 8:30~12:15 8人	植物観察と水質調査	多摩川を歩きながら、植物観察と水質調査を行う。	NPO 法人かんきょう市民の会理事 椛島 弘通 氏	多摩川河川敷
3	8月17日(火) 9:00~16:00 38人	親子で紙すき・紙パック船作り	リサイクルプラザの見学と紙すき・紙パック船作り体験	—	府中市リサイクルプラザ
4	8月28日(土) 14:00~16:00 21人	府中の地形と自然環境を知ろう	府中の地形や豊かな緑の成り立ち、自然環境を体感し自然環境の移り変わりを学ぶ。	府中市郷土の森博物館 学芸員 中村武史 氏	府中市郷土の森博物館
5	10月2日(土) 13:30~16:10 16人	浅間山の自然を知ろう	浅間山を歩きながら、豊かな自然を体感し自然保護の現状について学ぶ。	浅間山自然保護会 会長山田義夫 氏 樹木医 新井孝次朗 氏	都立浅間山公園
6	11月6日(土) 10:00~12:00 18人	エコクッキング	食とエコについての講義と府中産の野菜を使った簡単調理実習	府中市福祉保健部健康推進課職員	ルミエール府中料理講習室

回	日 時 参加人数	テーマ (学習内容)	内 容	講 師	会場等
7	12月18日(土) 10:00~12:00 15人	農業と地産地消について	府中の農業及び地産地消についての講義と市民が参加できる農業体験講座の紹介	府中市市民生活部 経済観光課職員	府中市役所第2 庁舎会議室
8	2月19日(土) 14:00~16:00 20人	地球温暖化について考える	地球温暖化の仕組みや対策についてと身近でできるエコ活動の紹介	環境カウンセラー 松嶋 健太 氏	府中市役所第2 庁舎会議室

(2) 環境調査・市民調査

ア 市民による酸性雨調査

平成2年度から、市民の方々の協力により、酸性雨の簡易測定を実施しています。測定結果だけでなく、独自の実験や研究結果なども寄せられています。平成18年度からエコサマースクールと題し、東京農工大学と連携して夏休みの自由研究支援を目的とした夏季講座を実施しています。酸性雨の測定を通して、大気汚染さらには地球環境問題を身近で考える場とするとともに、データを記録し、自動測定機では得られない市内全体の状況を把握しています。

日 時	テーマ (学習方法)	内 容	会場等
8月2日(月) 10:00~11:30	酸性雨調査説明会 「酸性雨をつくってみよう！」	市民酸性雨調査の会による自動車の排気ガスから酸性雨をつくる実験、酸性雨自動測定機の見学のほか、器具貸出しと調査方法の説明。	教育センター科学実験室
8月25日(水) 10:00~12:00	施設見学会 「府中の大気は大丈夫？」	東京農工大教授による講義、大気汚染の植物への影響を研究している施設、気象観測所アメダスの見学のほか、キャンパス内に残っている絶滅危惧植物や農作物への影響を観察。	東京農工大学講義室及び府中キャンパス内
8月~9月	酸性雨調査期間	雨を採取しpHと降水量を測定	参加者自宅等

調査参加者数:18人

イ 市民ボランティア調査

市民の方々の協力により環境調査を実施することで、より多くの人が環境に興味を持つきっかけづくりの場を提供し、さらにはフィールドワークを通して市民ボランティアを育成しています。また、得られたデータは、市の環境施策に活用するための基礎データとして、記録しています。この調査は、地域の環境に根ざした環境調査プログラムとして、市内で環境活動を行っている「特定非営利活動法人 府中かんきょう市民の会」に委託して実施しています。

(ア) 西府町湧水調査

調査期間：平成22年4月～平成23年3月（通年）

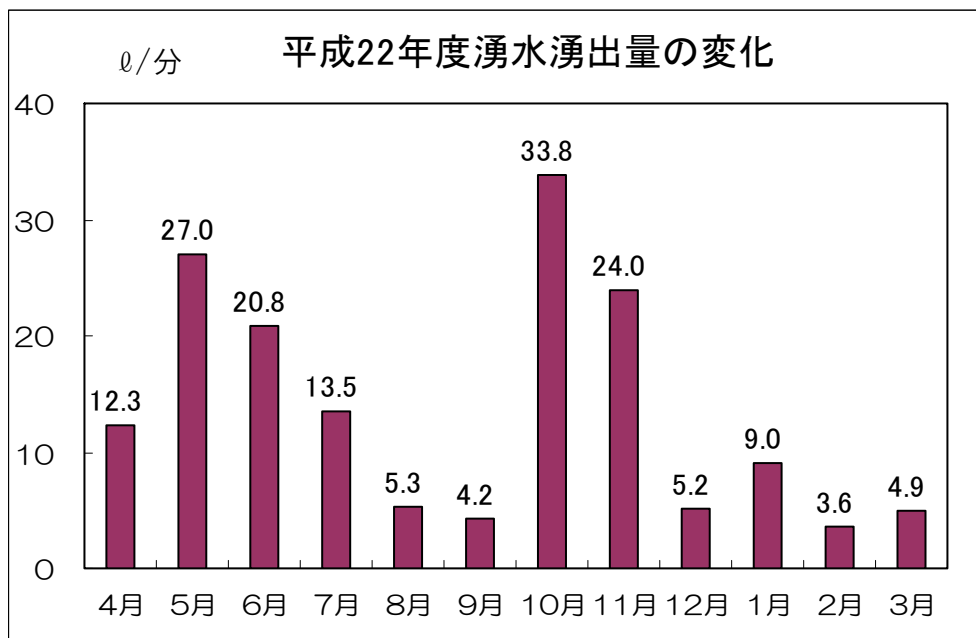
調査場所：西府町湧水

参加人数：延べ25名

調査内容：湧水量、水質の通年データ測定調査

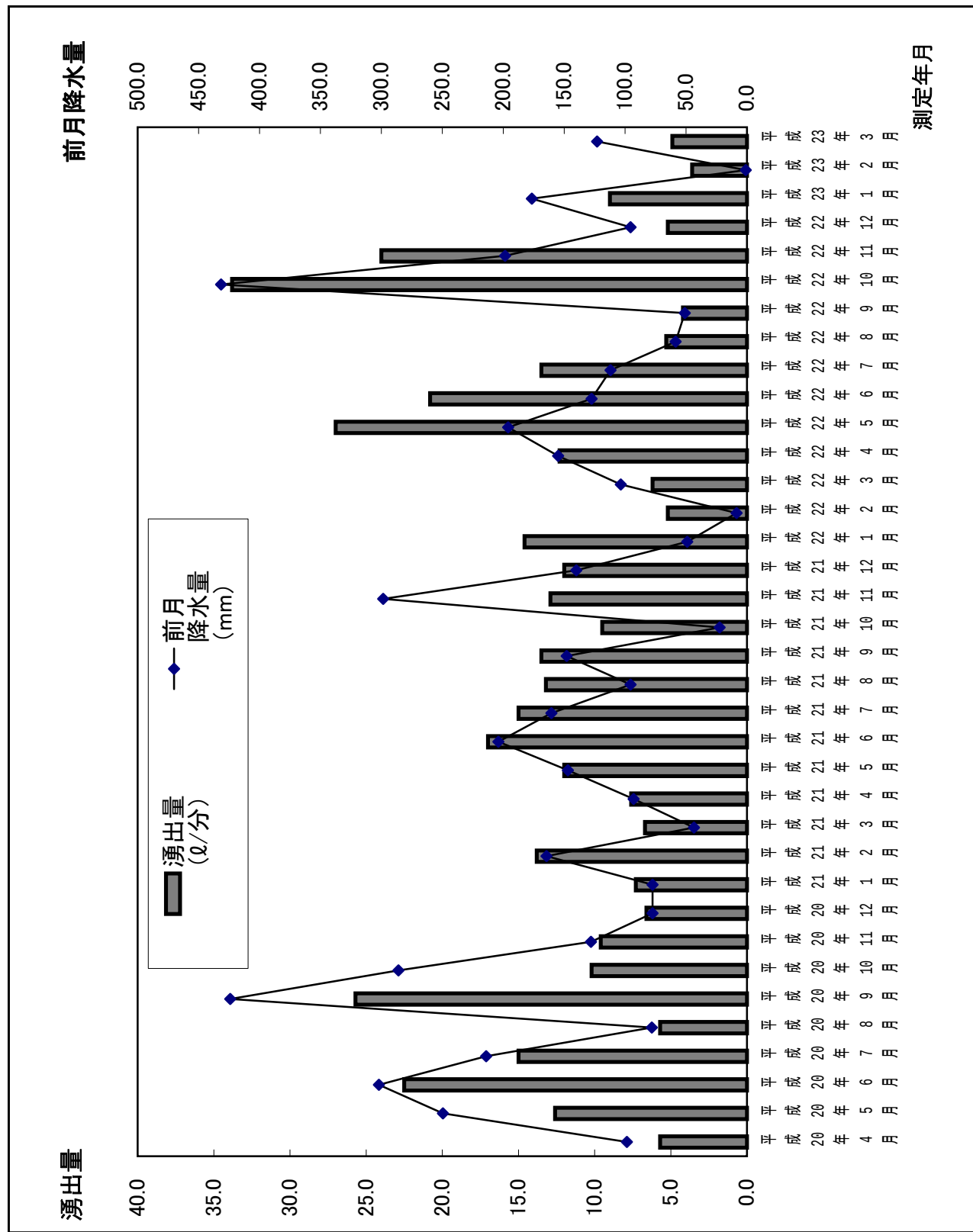
調査結果

測定日	湧出量 (ℓ/分)
4月1日	12.3
5月2日	27.0
6月1日	20.8
7月1日	13.5
8月1日	5.3
9月1日	4.2
10月1日	33.8
11月1日	24.0
12月1日	5.2
1月1日	9.0
2月1日	3.6
3月2日	4.9

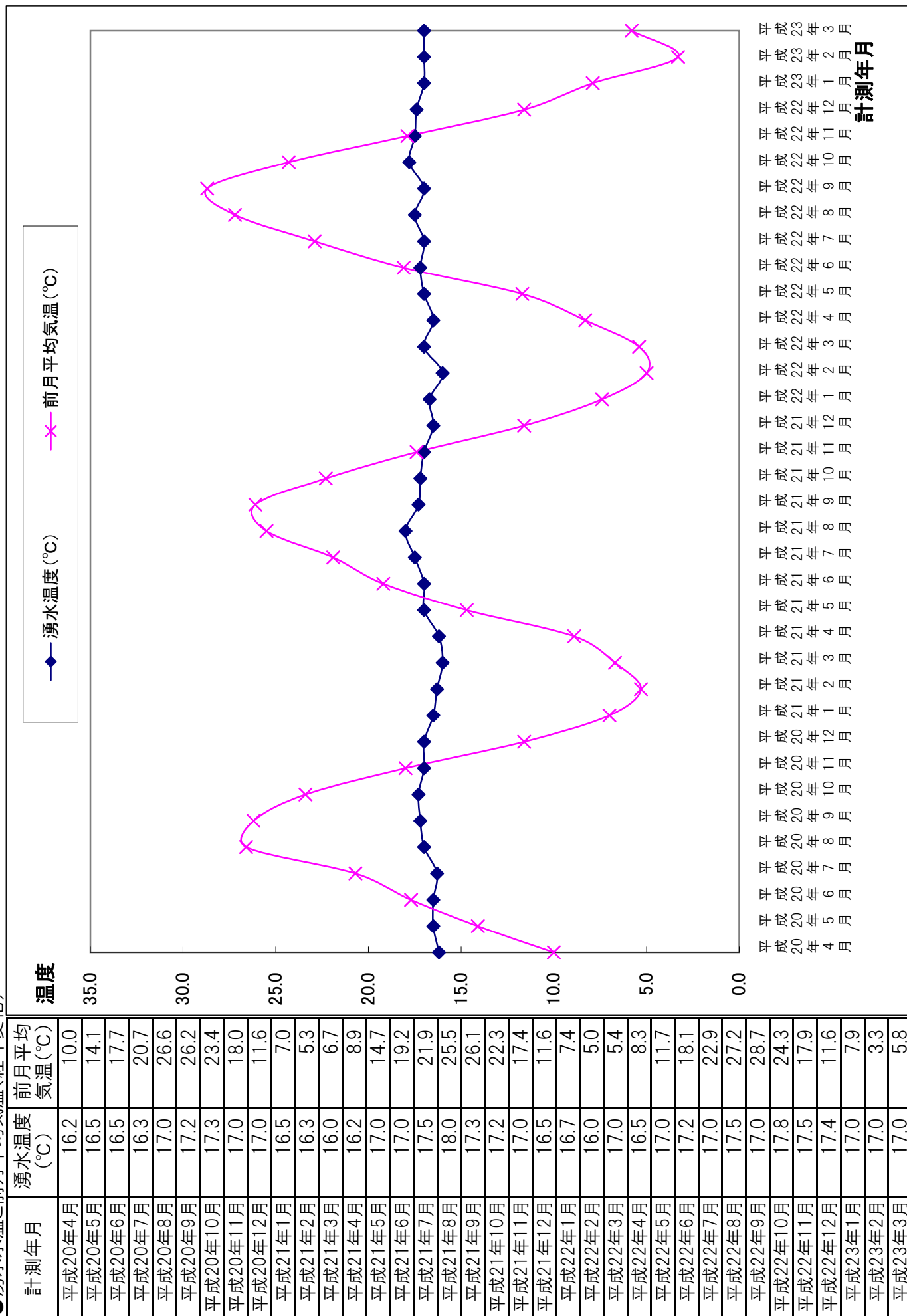


●湧水量と前月降水量（経年変化）

測定年月	湧出量 (ℓ/分)	前月 降水量 (mm)
平成20年4月	5.7	98.5
平成20年5月	12.6	249.5
平成20年6月	22.5	302.0
平成20年7月	15.0	214.0
平成20年8月	5.7	78.1
平成20年9月	25.7	424.0
平成20年10月	10.2	286.0
平成20年11月	9.6	128.0
平成20年12月	6.6	77.5
平成21年1月	7.3	77.5
平成21年2月	13.8	164.5
平成21年3月	6.7	43.5
平成21年4月	7.6	93.0
平成21年5月	12.0	147.0
平成21年6月	17.0	204.0
平成21年7月	15.0	160.5
平成21年8月	13.2	95.5
平成21年9月	13.5	148.0
平成21年10月	9.5	22.5
平成21年11月	12.9	298.5
平成21年12月	12.0	140.0
平成22年1月	14.6	49.0
平成22年2月	5.2	8.5
平成22年3月	6.2	103.5
平成22年4月	12.3	155.0
平成22年5月	27.0	196.0
平成22年6月	20.8	127.5
平成22年7月	13.5	112.0
平成22年8月	5.3	58.5
平成22年9月	4.2	51.0
平成22年10月	33.8	431.5
平成22年11月	24.0	198.5
平成22年12月	5.2	95.5
平成23年1月	9.0	176.5
平成23年2月	3.6	1.0
平成23年3月	4.9	123.0



●湧水水温と前月平均気温(経年変化)



(イ) 多摩川の野鳥観察・調査

調査結果は68ページ

調査期間:平成22年4月～平成23年3月(公開講座2月6日)

調査場所:多摩川大丸堰、いこいの森、郷土の森ほか

参加人数:延べ129名

調査内容:多摩川と郷土の森周辺の調査、野鳥観察会の開催

(ウ) 植物観察・調査(多摩川河川敷)

調査結果は69ページ～73ページ

調査期間:平成22年4月～平成23年3月(公開講座5月29日)

調査場所:多摩川河川敷(大丸堰から関戸橋まで)

参加人数:延べ113名

調査内容:多摩川河川敷に自生する植物の観察会の開催と調査

(エ) 小川の生き物調査

調査結果は67ページ

調査日時:平成22年8月1日(日)

調査場所:本宿用水路(四谷2丁目)

参加人数:36名

調査内容:小川の生き物の生息状況の観察会の開催と調査

小川の生き物調査〈調査結果〉

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
実施年月日		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
		9月15日	9月14日	9月12日	9月11日	8月13日	9月16日	8月3日	8月1日	8月1日
参加者数	大人		9人	30人	26人	10人	26人	12人	36人	23人
	子供		9人	20人	20人	8人	14人	9人	15人	13人
	合計	10人	18人	50人	46人	18人	40人	21人	51人	36人
調査場所		上流と下流	上流と下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流
魚類捕獲数	カワムツ	7								1
	オイカワ	54	12	315	126	34	164	33	19	21
	アブラバヤ	2	3					45	20	42
	タモロコ	11	10	37	21	7	86	2	8	7
	モツゴ(クチボソ)	2	3	8	8	17	12	1	11	4
	コイ			2		3	17	9	5	7
	ギンブナ		1	1		1	3	2	6	5
	ドジョウ		2	13	5	2	3	2	1	2
	シマドジョウ								1	1
	ナマズ				1		1			
	トウヨシノボリ	13	18	11	10	3		3		
	ヌカエビ	1								
	ムギツク				4	2		5	1	
	カマツカ				2	2	14	7		
	ジュズカケハゼ					1				1
	メダカ								1	1
	ニゴイ							1	1	
合 計		90	49	387	177	72	300	110	74	92
その他の生き物	アメリカザリガニ	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数
	アマガエル					○		○		5
	オタマジャクシ							4		ダルマガエル6
	タニシ							多数		10(シジミ1)
	ハイイロゲンゴロウ							1		
	エビの仲間									12
	トンボの仲間						○		○	○
ヒガンバナの開花		咲き始め	咲き始め	満開	咲き始め	—	咲き始め	—	—	—

第4回から用水の取水方式がポンプ式となり、捕獲した魚が小型になるとともに数も減っている。

第5回は実施時期がお盆と重なったため、参加希望者が減っている。

第6回は用水の水が止まり、ほとんど水たまり状態になったため、魚が深みに集まりやすく捕獲数が増えた。

第6回のトンボの仲間の種類：アキアカネ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、ハグロトンボ、ナツアカネ

ミヤマアカネ、マヨタテアカネ、ノシメトンボ

第7回の魚は、時機が早かったためか、ほとんどの魚が小型だった。

第8回のトンボの仲間の種類：ミヤマアカネ、マユタテアカネ、ハグロトンボ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ

●野鳥観察調査結果(観察野鳥リスト)

※毎月1回 午前9時～正午頃まで観察

<調査場所>郷土の森正門前～いこいの森～修景池～郷土の森公園～庭球場横～大丸堰周辺～ニセアカシア疎林～読売新聞社前

調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
調査日	13日	7日	7日	9日	5日	7日	14日	8日	7日	14日	7日	9日		
天候	晴	曇	晴	曇	晴	晴	曇	晴	曇	晴	晴	曇		
参加者数	12人	7人	9人	9人	7人	6人	7人	9人	10人	11人	9人	8人	104人	
在来種	野鳥の名前	確認数（羽）												
	カイツブリ	1		1	1	1	4	5	1	11	5	3	6	39
	カワウ	4	15	1	3	31	1	25	3	15	3	3	4	108
	ダイサギ	3	3	2	4	5	3	6	3	3	15	3	3	53
	チュウサギ						1							1
	コサギ		12	3		10	1	1				13	21	61
	アオサギ	5	3	6	1	13	7	13	3	3	3	1	1	59
	サカツラガン	1												1
	マガモ								1	1	20		7	29
	カルガモ	21	12	10	31	39	17	13	7	14	37	13	23	237
	トモエガモ										1			1
	ハシビロガモ						6							6
	ヒドリガモ									3				3
	キンクロハジロ									1				1
	ホオジロガモ												1	1
	ミサゴ								1					1
	トビ	1				3	1	3	2	1	1	3	2	17
	ノスリ												1	1
	チョウゲンボウ		1		1								2	4
	キジ	4	3		1									8
	オオバン									7				7
	コチドリ	1			1		1							3
	イカルチドリ	4	3	4	1	4	2		5	4	7	3	2	39
	イソシギ			2			11	1	1	1		1		17
	セグロカモメ											1		1
	キジバト	1	1	1	1	1	1	1		1	1	6	7	22
	ヒメアマツバメ		6										60	66
	カワセミ		1		2		4	2	1			1	4	15
	コゲラ			4	1	1		2		1			2	11
	ヒバリ	3	3	2	2	1			3			1	1	16
	ツバメ	1	8	4	10	17		3						43
	コシアカツバメ					4								4
	キセキレイ							1	1				1	3
	ハクセキレイ	7	4	4	10	2	14	14	16	7	6	6	12	102
	セグロセキレイ	2	2	3	2	6	11	5	4	7	7	6	6	61
	タヒバリ	3									5	2	4	14
	ヒヨドリ	8	1	6	7	2	2	13	11	13	13	2	6	84
	モズ							7	5	3	5	4	3	27
	ジョウビタキ								3		2	2	2	9
	シロハラ										1			1
ツグミ	2								120	7	12	11	152	
ウグイス	1	1	1	1	1							1	6	
オオヨシキリ		1	3	2		1							7	
セッカ	9	10	13	12	11	7			1	2	1		66	
シジュウカラ	3	3	10	2		1	2	6	5	8	7	5	52	
メジロ	4					2	5	2	1	3		9	26	
ホオジロ	2		1	2			2	2	1	2	4	3	19	
カシラダカ	2										5		7	
オオジュリン										2			2	
カワラヒワ	11	6	3	6	2	7	16	13	7	17	19	14	121	
スズメ	10	8	11	9	16	100	40	5	80	50	3	28	360	
ムクドリ	13	26	20	7	6	2			12		3	15	104	
ハシボソガラス	1	5	2	7	2	4	5	2	3	27	15	4	77	
ハシブトガラス	6	9	4	7	14	5	8	4	23	4	3	4	91	
確認総羽数	134	147	121	134	192	216	193	105	349	254	146	275	2,266	
確認種類数	29	25	25	27	23	26	24	25	28	27	29	34	322	
外来種	ドバト	3	11			5	9		4		13		32	77
	アヒル		2	3										5
	ガビチョウ	1						1						2
	コジュケイ	1												1
	確認総羽数	5	13	3	0	5	9	1	4	0	13	0	32	85
確認種類数	3	2	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	4	

●多摩川植物調査結果(植物開花調査リスト)

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
トクサ科	イヌドクサ													花ではなく孢子茎
	スギナ													花ではなく孢子茎
クルミ科	オニグルミ	○	*	*	*	*	*	*						
	ヒメグルミ		*	*	*	*	*	*						
ヤナギ科	コゴメヤナギ	○												都・絶滅危惧Ⅱ類
ニレ科	アキニレ						○	*	*	*	*	*	*	
	ムクノキ													
クワ科	カナムグラ						○	○	*		*			
	ヤマグワ		*	*										
ビャクダン科	カナビキソウ		○											
タデ科	ナガバギシギシ☆	○	○	*	*	*		*	○				b	
	スイバ		○											
	ヒメスイバ☆		○	○										
	オオイヌタデ						○	○						
	アレチギシギシ☆			○										
	イタドリ						○	*	*	*	*	*	*	
	ミゾソバ							○	*					
	イヌタデ							○	○					
	ヤナギタデ							○						
	ギシギシ			*	*		○				*			
	ミチヤナギ☆						○							
スベリヒユ科	スベリヒユ						b	*						
ナデシコ科	カワラナデシコ				○	b	*	○	○	*	*	*	*	都・絶滅危惧Ⅱ類
	オランダミミナグサ☆	○	○											
	ノミノツツリ	○	○											
	ウシハコベ		○	○	○		○	○	○	○	*			
	コハコベ	○												
	ショカツサイ☆													
	ムシトリナデシコ☆													
	ミミナグサ		○	○										
	ノハラナデシコ☆													
アカザ科	シロザ						○							
	ケアリタソウ☆						*	○	*	*	*	*	*	
	コアカザ☆													
ヒユ科	ヒナタイノコズチ						○		*	*	*	*		
キンポウゲ科	ケキツネノボタン	○	○	*									○	
	セリバヒエンソウ☆	○	○											
	タガラシ	○				b	○		*					
	センニンソウ					b	○	○	*	*	*	*		
オトギリソウ科	コゴメバオトギリ☆		b	○	○									
ケシ科	ナガミヒナゲシ☆		○											
アブラナ科	ミチタネツケバナ☆												○	
	カキネガラシ☆		○	*										
	ナズナ	○											○	
	セイヨウアブラナ☆	○											○	
	セイヨウカラシナ☆	○	○										○	
	オランダガラシ☆	○		○										
	スカシタゴボウ			○									○	
	マメゲンバイナズナ☆		○	○	○	*		○	*	○	*			
	ハタザオ		○	*										都・準絶滅危惧
	イヌガラシ	○			○									
	タネツケバナ	○										○	○	
ベンケイソウ科	ツルマンネングサ☆		○	*										
	コモチマンネングサ			○										
	メキシコマンネングサ☆		○											
ユキノシタ科	タコノアシ													都・準絶滅危惧
	ウツギ													
バラ科	ヘビイチゴ	○											○	
	ノイバラ		○	*	*	*	*	*	*		*	*	*	
	ナワシロイチゴ		○		*									
	テリハノイバラ			○	○	○	*	○	○	○	*	*	b	
	カワラサイコ		○	○	○		○							都・絶滅危惧Ⅱ類
	ワレモコウ					○	*	*	*					
	タチバナモドキ☆		○							○				
	ユキヤナギ													
	キンミズヒキ						○							
	オオシマザクラ	○	*											

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
マメ科	カラスノエンドウ	○	○	*									○	
	スズメノエンドウ	○	○											
	シロツメクサ☆		○	○	○	○		*	○					
	コメツブツメクサ☆	○	○	○										
	ムラサキツメクサ☆		○	○	○	○	○	○	○	○				
	コマツナギ			○	○	○	○							
	クララ		b	○		*	*	*						
	クズ						○	*						
	メドハギ					○	○	○	*	*	*	*	*	
	アレチヌスビトハギ☆													
	ヤハズソウ						○	*						
	クスタマツメクサ☆		○	○										
	ハリエンジュ☆		○	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	カスマグサ	○	○											
	ナヨクサフジ☆													
	レンリソウ		○		*									都・絶滅危惧ⅠB類
	ツルマメ						○			*				
	ヤブマメ													
	マルバヤハズソウ													
カタバミ科	カタバミ	○		○		○		○	○					
	オッタチカタバミ☆	○	○	○	○	○	○	○	○					
	ムラサキカタバミ☆													
フウロソウ科	アメリカフウロ☆		○											
トウダイグサ科	オオニシキソウ☆					○	○	○	○					
	エノキグサ							○						
	アカメガシワ		b	○	○	○								
	コニシキソウ☆							○						
ウルシ科	ヌルデ			b	b	b	○	*	*	*	*	*	*	
ニシキキ科	マユミ													
ブドウ科	ヤブガラシ			○	○	○	○	○						
スミレ科	タチツボスミレ	○												
ウリ科	アレチウリ☆						○	○	○	*	*			
アカバナ科	ユウゲショウ☆		○	○	○	○		○						
	コマツヨイグサ☆		○	○	○	○	○		○	○				
	オオマツヨイグサ☆					○								
	メマツヨイグサ☆				○		○	○	○	*	*	*	*	
セリ科	ヤブジラミ				○	*								
	オヤブジラミ		○											
	ハナウド		○											
モクセイ科	イボタノキ													
	トウネズミモチ									*	*			
ガガイモ科	ガガイモ				○	○		*	*	*	*			
アカネ科	ヤエムグラ	○	*											
	ヘクソカズラ				○	○	○	*	*	*	*	*	*	
	オオフタバムグラ							*						
ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ☆				○									
	コヒルガオ													
	マルバアメリカアサガオ☆							○						
	ヒルガオ			○	○	○								
ムラサキ科	キュウリグサ	○												
クマツヅラ科	アレチハナガサ☆		*	○	○	○	○	○	○	○	*	*	*	
	ハマクマツヅラ☆													
	ヤナギハナガサ☆													
	ダキバアレチハナガサ☆					○								
シソ科	イヌコウジュ							○	*	*				
	ヤマタツナミソウ		○											
	カキドオシ	○												
	ヒメオドリコソウ☆	○										○	○	
	ホトケノザ	○										○	○	
	ミゾコウジュ													国・準絶滅危惧
	ニガクサ				b	○			*					
	ヒメジソ													
	メハジキ													
ナス科	アメリカイヌホオズキ☆													
	イヌホオズキ						○			*				
	クコ							○	*	*	*			
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ☆	○	○								○	○	○	
	タチイヌノフグリ☆	○	○											
	オオカワヂシャ☆	○	○	○									○	

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ゴマノハグサ科	カワヂシャ													
	ビロードモウズイカ☆			○	b	b	○	*	*	*	*	*	*	
	トキワハゼ													
	ムシクサ													
	マツバウンラン		○											
キツネノマゴ科	キツネノマゴ					○	○	○						
ハマウツボ科	ヤセウツボ☆		○	○										
オオバコ科	ヘラオオバコ☆	○	○	○	○	○		*						
	オオバコ		○	○	*	○	○	○	*	*	*			
	ツボミオオバコ☆		○											
オミナエシ科	ノヂシャ☆													
キキョウ科	ヒナギキョウ													
キク科	ハルジオン☆	○	○											
	オニノゲシ		○	○			○							
	ヤブタビラコ													
	セイヨウタンポポ☆	○	○	○				○						
	ノゲシ	○	○	○									○	
	オニタビラコ	○												
	コセンダングサ☆	*		○	○	○	○	○	○	○	*	○	*	
	キツネアザミ		○											
	コウゾリナ		○	○	○						○			
	ウラジロチチコグサ☆		○											
	ハハコグサ													
	ニガナ		○											
	ヒメジョオン☆			○	○	○	○	○		○	*	*		
	ハルシヤギク☆			○	○	○	○		○	○				
	オオキンケイギク☆		b	○										
	オオアレチノギク☆				○	○	○	○	○		*			
	ヒメムカシヨモギ☆					○	○	○						
	イヌキクイモ☆						○	*	*	*	*	*	*	
	アキノノゲシ							○	*	○				
	ヘラバヒメジョオン☆					○			○	○				
	ホウキギク☆						○				*			
	ヒロハホウキギク☆							*			*			
	オオブタクサ☆						○	*	*	*	*			
	セイタカアワダチソウ☆						○	○	○		○	*	*	
	アイノコセンダングサ☆						○	○	○	○				
	ヨモギ						○	○	○	*	*	*	*	
	ノコンギク								○					
	ハキダメギク☆													
	タンポポ(カントウ×セイヨウ)☆													
	エゾタンポポ	○												
	タチチチコグサ☆													
	ノボロギク☆													
	チチコグサモドキ☆				○									
	オオジシバリ		○											
	アメリカセンダングサ☆													
	アメリカタカサブロウ☆						○	○						
	ブタナ☆			○										
	ヤナギバヒメジョオン☆													
トチカガミ科	オオカナダモ☆					○	○							
ユリ科	ノビル		b	○										
	ノカンゾウ				○									
	ヤマラッキョウ								○					
	ニラ					○								
	ヤブカンゾウ				○									
	ツルボ						○	○	*	*	*	*	*	
ヒガンバナ科	ヒガンバナ						○	○						
アヤメ科	ニワゼキショウ☆		○	○										
	キショウブ☆		○											
イグサ科	スズメノヤリ	○												
	クサイ			*		*								
	コゴメイ☆			○	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
ツユクサ科	ツユクサ				○	○	○	○	*					
イネ科	オオスズメノカタビラ☆	*	○											
	カラスノチャヒキ☆													
	スズメノチャヒキ☆		○	*										
	カラスムギ☆		○		*									
	イヌムギ☆				*	*								

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
イネ科	ハルガヤ☆	○	○											
	オニウシノケグサ☆		○	*	○	○								
	スズメノカタビラ	○	○	○										
	クサヨシ		○		*	*								
	ネズミホソムギ☆		○	○										
	シナダレスズメガヤ☆		○	○	○	○	○	○	○	○	*	*	*	
	ムクゲノチャヒキ☆	○	*	*		*								
	アオカモジグサ		○		*									
	ネズミムギ☆		○	○										
	ノシバ			○	○	*	○							
	コバンソウ			○										
	カモジグサ		○	○	○	*								
	セイバンモロコシ☆		○	○	○	○	○	○	○	*	*			
	チガヤ													
	シマスズメノヒエ☆			○	○		○	*	○	*				
	ヤマアワ													
	ノギナシセイバンモロコシ☆					○	*	○	○					
	アキノエノコログサ						*		*					
	カタバエノコ					*	*	*	*					
	キシュウスズメノヒエ☆						○	○						
	オヒシバ					○	○	*	*	*	*			
	メヒシバ					○	○	○	*	*	*			
	イヌビエ					*	*		*	*				
	エノコログサ				*	*	○		*	*	*			
	ツルヨシ				○	○	○	○	*	*	*	*	*	
	トダシバ					○	b	○	*	*	*	*	*	
	キンエノコ						○	*	*	*				
	カゼクサ						○	*	*	*	*	*		
	ムラサキネズミノオ				○	○			*					
	アキメヒシバ							*						
	チカラシバ							*	*	*	*	*	*	
	メリケンカルカヤ☆													
	オガルカヤ							○	*	*	*	*	*	
	ススキ							○	*	*		*		
	コメヒシバ													
	ヨシ							○	*	*	*	*	*	
	オギ						○	○	*	*		*	*	
	カモガヤ		○	○						*				
	アンデスカゼクサ☆													
	ミゾイチゴツナギ													
	ウシノシッペイ					○								
	ジュズダマ					○		○		*	*			
	コスズメガヤ☆													
	ヒメイヌビエ													
	オオエノコログサ													
	ネズミノオ						*	○	*		*	*		
	イチゴツナギ													
	ヒゲナガスズメノチャヒキ☆		○											
	ヒエガエリ		*											
	メガルカヤ						○	○	*	*	*	*	*	
	ヤクナガイヌムギ☆	○	○											
	フシゲチガヤ		○	*	*									
	ナギナタガヤ☆													
	スズメノヒエ													
	タイヌビエ													
	オオクサキビ☆						○	*						
	ホソムギ☆													
	ケイヌビエ						*							
	チヨウセンカリヤス								*					
	キツネガヤ													
	スズメノヒエ							*						
	ヒメコバンソウ		○											
	ミノボロ		○											都・準絶滅危惧
	コツブキンエノコ													
カヤツリグサ科	アオスゲ													
	マスクサ		○	*										
	ハマスゲ							*						
	ミコシガヤ													
	メリケンガヤツリ☆			○	○	○	*	*	*	*	*	*	*	

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
カヤツリゲサ科	アゼナルコ			*										
	ヒメクゲ													
	アゼガヤツリ													
	カヤツリゲサ							*		*				
	コゴメガヤツリ													
	ジュズスゲ													
	ヤワラスゲ		○											
	アオガヤツリ							*						
ラン科	ネジバナ			○										
確認した開花植物数		43	77	53	40	44	63	55	27	14	3	5	13	

(注) 本リストは月ごとの調査結果(蕾・花・果実)より開花状況にある植物を主体に、一覧にまとめた。

種名のあとの☆は帰化植物を示す。

科名の配列順序は『新高等植物分類表』(伊藤洋著 平成元年)による。

表中の○印は開花が確認されたものを示す。(*印は果実のみ、b印は蕾のみ)

△印は花ではなく孢子茎を示す。

20年度以降に開花結実をみたが、22年度の調査で確認できなかったものは、種名のみ記載した。

今回の調査ではタコノアシ、カワヂシャ、ミゾコウジュなどの希少種を確認できなかった。

備考欄の希少植種の記載は「東京都レッドリスト～2010版」の北多摩地域より引用した。

(オ) 田んぼの学校

実施期間:平成22年5月～平成23年3月

実施場所:東京農工大学フィールドサイエンスセンター フィールドミュージアム本町農場、他

参加人数:延べ463名

調査内容:農作業を体験しながら、水田に生息する昆虫等を観察

(カ) 大気汚染(NO₂、SPM)の調査

調査期間:平成22年4月～平成23年3月

NO₂調査(カプセル方式):6月、9月、12月、3月

NO₂調査(簡易測定キット):2月24日～25日

SPM調査:汚染度合いが少なく測定不可能のため中止

参加人数:延べ79名

調査内容:

NO₂:簡易測定キット(空気のごれはかるくん)で、参加者ごとに住宅等の周辺で濃度を測定(市内24か所)、カプセル方式で交差点付近の濃度を測定(市内17か所)

『天谷式カプセル』によるNO₂測定結果経年表(測定者:府中かんきょう市民の会)

カプセル No.	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	18年度	月	19年度	20年度	21年度	22年度
1	西原町1-17 西原町交差点	1	49	6	18	53	62	62
		4	47	9	25	53	84	48
		7	53	12	21	53	29	79
		10	59	3	20	22	21	34
2	栄町3-8 府中刑務所角	1	45	6	9	40	24	18
		4	14	9	26	34	61	-
		7	35	12	16	40	10	35
		10	40	3	9	26	22	310
3	新町2-77 自治会館小金井街道沿い	1	42	6	9	49	49	-
		4	31	9	39	26	43	-
		7	34	12	21	31	19	-
		10	43	3	14	29	17	-
4	浅間町1-7 生涯学習センター角	1	36	6	4	35	23	-
		4	22	9	29	33	30	-
		7	29	12	49	4	2	-
		10	30	3	13	7	12	-
5	日新町2-23 府中西高校入口交差点	1	48	6	13	62	-	35
		4	34	9	44	40	55	26
		7	41	12	42	35	32	57
		10	43	3	14	44	30	29
6	本宿町2-21 本宿交番前	1	76	6	35	75	54	70
		4	46	9	68	43	60	31
		7	44	12	36	53	36	63
		10	53	3	20	44	33	83
7	本町1-13 イトーヨーカドー駐車場角	1	-	6	22	53	43	-
		4	33	9	44	-	66	-
		7	45	12	26	35	35	-
		10	39	3	15	43	36	-
8	清水が丘1-4 東府中交番前	1	59	6	13	62	51	31
		4	41	9	13	43	79	26
		7	52	12	25	44	34	36
		10	57	3	17	40	49	106

カプセル No.	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	18年度	月	19年度	20年度	21年度	22年度
9	白糸台2-1 白糸台郵便局前	1	43	6	4	35	-	31
		4	15	9	40	29	40	48
		7	32	12	25	31	26	39
		10	15	3	16	37	15	13
10	押立町1-37 車返団地角	1	31	6	13	53	37	31
		4	36	9	39	37	79	48
		7	28	12	21	35	21	39
		10	50	3	9	43	21	13
11	寿町3-4 寿町3丁目交差点	1	-	6	9	84	55	44
		4	-	9	68	57	69	53
		7	-	12	32	49	30	56
		10	-	3	16	-	21	5
12	前原町5-8 東八・小金井街道 前原交番前	1	-	6	-	-	-	40
		4	-	9	-	-	-	35
		7	-	12	-	-	-	36
		10	-	3	-	-	-	13
13	浅間町2-12 新小金井街道・学園通り 浅間町2丁目交差点	1	-	6	-	-	-	40
		4	-	9	-	-	-	53
		7	-	12	-	-	-	23
		10	-	3	-	-	-	83
14	若松町4-8 新小金井街道 明大グランド西	1	-	6	-	-	-	18
		4	-	9	-	-	-	18
		7	-	12	-	-	-	30
		10	-	3	-	-	-	61
15	若松町2-12 新小金井街道・20号線 浅間町2丁目交差点	1	-	6	-	-	-	35
		4	-	9	-	-	-	26
		7	-	12	-	-	-	46
		10	-	3	-	-	-	220
16	緑町1-1 小金井街道・20号線 小金井街道入口	1	-	6	-	-	-	31
		4	-	9	-	-	-	35
		7	-	12	-	-	-	64
		10	-	3	-	-	-	70
17	幸町1-35 国分寺街道・一本木通り 幸町1丁目交差点	1	-	6	-	-	-	18
		4	-	9	-	-	-	9
		7	-	12	-	-	-	40
		10	-	3	-	-	-	24
18	栄町1-4 東八・国分寺街道	1	-	6	-	-	-	22
		4	-	9	-	-	-	31
		7	-	12	-	-	-	48
		10	-	3	-	-	-	74
19	是政5-19 府中街道・多摩川通り 是政橋	1	-	6	-	-	-	26
		4	-	9	-	-	-	35
		7	-	12	-	-	-	48
		10	-	3	-	-	-	89
20	四谷4-8 鎌倉街道・四谷通り 中河原駅前	1	-	6	-	-	-	53
		4	-	9	-	-	-	40
		7	-	12	-	-	-	65
		10	-	3	-	-	-	25

『空気のよごれはかるくん』による調査結果(測定者:公募市民)

調査地点名(地点住所)		測定値(ppm)	
		2月24日	2月25日
1	押立町2丁目	0.02	0.04
2	南白糸台小学校	0.02	0.02
3	寿町3丁目交差点	—	0.04
4	清水下通り・トンネル近く	0.04	0.02
5	是政3丁目	0.02	0.04
6	是政5丁目	0.04	0.02
7	いちよう通り美術館交差点	0.02	0.02
8	清水が丘2丁目	0.02	0.02
9	東八・関東医療少年院交差点	0.05	0.02
10	関戸橋東	0.05	0.05
11	浅間町4丁目交差点	0.04	0.04
12	天神町1丁目	0.04	0.02
13	日新町4丁目	0.04	0.02
14	八雲神社・分梅町1丁目	0.03	0.02
15	本町3丁目	0.04	0.04
16	本町3丁目	0.04	0.04
17	南町浄水場前	0.04	0.02
18	南町5丁目	0.02	0.04
19	武蔵台1丁目	0.06	0.04
20	紅葉丘3丁目	0.04	0.02
21	紅葉丘3丁目	0.02	0.02
22	四谷1丁目	0.03	0.02
23	四谷5丁目都道交差点	0.04	0.04
24	若松町4丁目交差点	0.04	0.04

(3) 環境啓発事業

● 第5回府中環境フェスタ

6月5日は「環境の日」です。「環境の日」は、環境の保全についての関心と理解を深め、環境に関する活動を行う意欲を高めることを目的に、環境基本法に定められています。府中市では、「環境の日」にあわせて、平成18年度から「環境フェスタ」を実施しており、平成19年度、20年度は府中環境フェスタ実行委員会、平成21年度からは府中環境プロジェクト実行委員会の主催で開催しました。また、開催にあたってはリサイクルフェスタ実行委員会と連携し、共同開催で「リサイクルフェスタ&環境フェスタ」として開催しました。

日 時	会 場	内 容
6月5日(土) 10:00～15:00	府中公園	府中公園にて、生物多様性をテーマに、市民団体、事業者、学校等によるブース出展(18団体)、生物多様性条約第10回締約国会議パネル展示を実施。 来場者数10000人

● あきかん～第2回府中エコ博～

6月の環境月間に実施している環境フェスタのほかに、平成21年度から秋の環境イベントは「あきかん～府中エコ博」を実施しています。第2回は、市内で活動する市民団体や事業者の環境への取組紹介や講演会等を実施し、広く市民への啓発を行いました。

日 時	会 場	内 容
11月20日(土) 10:00～15:00	府中駅北口広場	府中駅北口広場にて、地球温暖化防止をテーマに市民団体、事業者、学校等によるブース出展(16団体)、集まれエコ自慢展示、環境映画上映会、バルーンアート教室及び府中駅北第2庁舎会議室にて、気象キャスター小越久美氏による環境講演会を実施。 来場者数3017人

2 地球温暖化対策

地球温暖化とは、温室効果ガスの過度な蓄積より、地球の平均気温が長期的に上昇することです。

温室効果ガスが全くないと今の地球の気温は維持できませんが、過度に蓄積すると気温が上昇し過ぎ、地球の気候を大きく変化させ、自然生態系などに深刻な問題を与えます。

主な温室効果ガスとしてCO₂(二酸化炭素)があります。CO₂は有機物の分解・燃焼に伴い発生します。産業革命以降、世界的にエネルギー源として有機物である化石燃料の大量燃焼を続け、一方で森林伐採等でCO₂の吸収量は減少しています。その結果大気中に過度のCO₂が蓄積しました。また、ほかの温室効果ガスも私たちの生活に関するあらゆる活動に伴い発生しています。

地球の平均気温は、100年間で0.6度上昇しています。日本の平均気温は約1℃、都市化の著しい東京では約3℃も上昇しています。これはヒートアイランド現象であると考えられ、地球温暖化に影響しているといわれています。

国際的動向として、世界の国々においての温室効果ガス排出量の法的拘束力がある数値目標を盛り込んだ京都議定書の批准が進んでいます。わが国においても、平成9年の京都会議以降、地球温暖化対策の推進に関する法律の制定や、地球温暖化対策に関する基本方針の決定などがあり、地方公共団体に温室効果ガス排出抑制のための実行計画の策定・公表が義務付けられました。

市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策をより積極的に推進するため、ISOが定めたISO14001を平成14年に取得しました。平成23年2月には3回目の認証更新をして、環境負荷の低減に努めています。また、市の取組みを年一回「府中市エコ・レポート」として、公表しています。なお、市民のCO₂削減活動を支援するため、エコハウス設備設置補助金事業を実施しています。

※ ヒートアイランド現象

都市部の気温が郊外部に比べて高くなる現象をいいます。原因として、大量の熱エネルギーを発生させる都市においては、土が露出した地面が少ないため、水の気化による気温の低下が妨げられることがあげられます。また、等温線を描くと都心部を中心とした「熱(=ヒート)」による「島(=アイランド)」のように見えるため、こう呼ばれています。

※ 温室効果ガス

太陽から地球に降り注ぐ(波長の短い)光は素通りさせますが、地球から宇宙に逃げる(波長の長い)赤外線(熱線)は吸収するため、地球の温度を上昇させる働きのあるガスのことをいいます。

京都議定書及び地球温暖化対策の推進に関する法律では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄の6物質が指定されています。

※ ISO

「国際標準化機構(International Organization for Standardization)」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織(NGO)で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

※ ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル(計画→実施→点検→見直し→計画のサイクル)を回すことで環境負荷低減行動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。これを認証取得した組織は、その環境に配慮した仕組みが国際規格に適合しているということの証明になります。日本では、JISQ14001として発効しています。

市職員の取り組み項目

府中市職員エコ・アクションプランは平成13年3月に策定され、市職員はこのプランに基づいて省エネルギー、省資源、ごみ減量などに努めています。平成23年3月には第3次府中市職員エコ・アクションプランを策定し、第2次に比べ日常取組項目を2つ追加、一部取組項目の修正を行い、より一層の環境負荷低減行動を実践していきます。

【日常取組項目】

- 1 レジ袋は受け取らない。
- 2 昼休み、就業前後及び残業時の不必要な照明は消灯する。
- 3 OA機器の未使用時は電源を切るか、省エネモードにする。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーを実施し、水曜日以外にもできる限り車を使用しない。
- 5 車のアイドリングは止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを実践する。
- 7 片面使用済紙の再利用や両面コピーを徹底し紙の使用量を削減する。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階までは上りのエレベータに乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低くする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品購入は必要最低限にする。
- 18 必要以上の印刷、コピーはしない。
- 19 コピー機の未使用時は電源ボタンを押し省エネモードに設定する。
- 20 退庁時はコピー機の主電源を切る。
- 21 使い捨ての箸、スプーン等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度は、夏28℃以上、冬20℃以下に設定する。
- 24 クールビズ、ウォームビズなど快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前までは使用しない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により照明・空調の効率化に努める。
- 27 ファイリングシステムの徹底により、必要以上の資料を印刷しない。
- 28 イベントを開催する際の電力は、グリーン電力を使用する。
- 29 各自の取組

市民の取り組み[環境家計簿]

日常生活において環境に負荷を与える行動や、環境に良い影響を与える行動を記録するために使用するもので、電気や水道使用量などの項目ごとに必要に応じて点数化し、一定期間の集計を行って、家計簿のように記録できることをめざしたもので、環境とのかかわりを再確認するための試みです。

府中市でも平成 15 年 12 月に環境家計簿を作成しました。各家庭でも、電気、ガス、水の使用量をチェックし、排出される二酸化炭素量を把握して、省エネ、省資源を心がけてもらうことが目的です。

(1) エコハウス設備設置助成事業

地球温暖化防止対策の一環として、個人住宅の環境に配慮した住宅設備設置費用の一部を助成することにより、自然エネルギーの有効活用の促進をするため、平成17年11月9日付で「府中市エコハウス設備設置補助金交付要綱」を施行し、実施しています。

(平成 22 年度実施概要)

対 象 設 備	補 助 率
太陽光発電システム	1kwあたり4万円で上限12万円
太陽熱高度利用システム	4万円
潜熱回収型給湯器	1万円
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	3万円
ガスエンジン給湯器	3万円
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム	5万円
雨水浸透施設	標準工事費の5割で上限10万円
雨水貯留槽	本体と架台の購入に要する費用の5割で上限2万5千円

※ 太陽光発電システム

太陽電池を用いて、太陽の光エネルギーを直接電気に変換して発電するシステムです。

※ 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)

都市ガス・LPガス・灯油等から水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させることにより発電するシステムです。同時に発電時に発生する排熱で給湯などに利用することができます。

コージェネレーションとは、1つのエネルギーから、熱や電気など複数のエネルギーを取り出し活用することをいいます。

※ ガスエンジン給湯器(エコウィル)

都市ガスやLPガスを燃料とするガスエンジンで発電し、その際に発生する排熱で給湯などに利用できる給湯器です。

これらは、火力発電所の稼働率を下げ、間接的にCO₂排出量を抑制する効果があります。また、電気の消費場所の近くで発電することになりますので、送電ロス(=送電線の電気抵抗等で失われる電力)も少なくなります。

※ 太陽熱高度利用システム

集熱器を用いて、太陽の熱を集めて利用するシステムです。

※ 潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)

従来の給湯器では排気ロスとして大気中に放出されていた潜熱を再利用する給湯器です。

※ 二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)

二酸化炭素を冷媒とし、空気の熱を利用した給湯器です。

これらは、従来の給湯器よりも熱エネルギーを得る際のCO₂発生を抑制する効果があります。

※ 雨水浸透施設

雨水を地下に浸透させ、地下水のかん養を図る施設です。

※ 雨水貯留槽

雨水を溜め、洗車や庭の水まきに使用できるようにするタンクです。水資源の有効利用が図れます。

交付件数推移

対 象 設 備	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	計
住宅用太陽光発電システム	9	17	6	17	44	89	182
太陽熱高度利用システム	0	0	3	0	3	5	11
潜熱回収型給湯器	10	126	90	47	17	43	333
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	6	56	38	38	22	54	214
ガスエンジン給湯器	0	0	5	8	1	2	16
家庭用燃料電池 コージェネレーションシステム	0	0	0	0	0	1	1
雨水浸透施設	1	3	0	0	0	3	7
雨水貯留槽	2	0	2	0	3	4	11